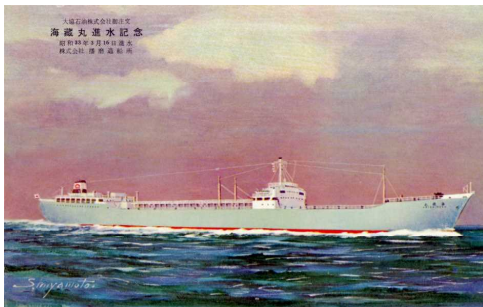


## 進水記念絵葉書が作られるプロセス



1955. 03. 16 進水 海蔵丸 宮本三郎画



海蔵丸絵葉書

進水記念絵葉書は、船景画と船に関わるデザイン画の二枚で構成されています。船景画の原画は、美術の専門家ではなく、絵心のある造船所職員が描きます。原画を作成する時点では、船は船台で建造中ですから実物をスケッチすることはできません。船景画を描く人は、設計に使う平面図と側面図を参考に透視図を作り、塗

装する色から窓の数・ロープの張り方まで実物と少しの違いもないように描くのです。宮本三郎氏は「一番難しいのは海の色と船の走っているときの波の立ち方で、船の大きさ、スピードに応じた波をださないといけないからだ」と語っています。

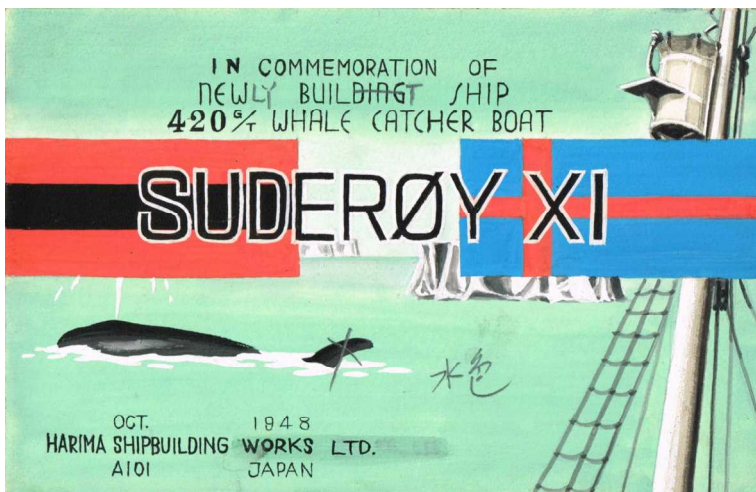
船の原画は船主に記念品として贈られますので相生には残らないのですが、本館は宮本三郎氏の油彩画を4枚所蔵しています。船主に贈る絵とは別にもう一枚描いたものと推定され、双葉小学校から本館に移ってきました。本館1階「播磨造船所とともに歩んだ相生」の展示で海蔵丸の原画をご覧ください。

船景画は造船所にいる「船の画家」が描いていました。では、デザイン画は誰がテーマを決め、誰が描いたのでしょうか。

これに関しては、まったく研究が進んでいません。しかし、改訂版の作成にあたり、デザイン画の絵葉書を作成する作業中の資料を入手しました。

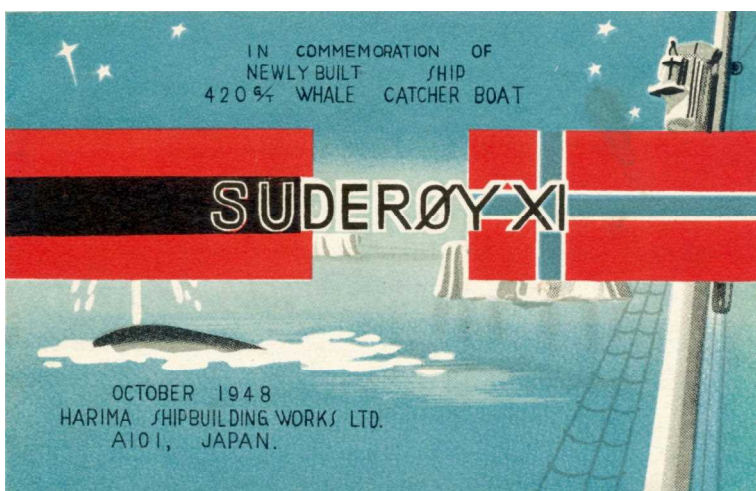


共栄丸完成記念絵葉書の表紙となる原画です。水彩で描かれています。白い丸はパンチ穴です。この原画にみあう完成品の絵葉書は見つかりませんので、このデザインが生かされたかどうかは不明です。



構想段階の原画

1948年に建造されたノルウェーの捕鯨船SUDEROY11記念絵葉書の表紙の原画です。水彩で描かれています。構想段階のもので、文字の訂正・絵の訂正・色彩の訂正が鉛筆で記入されています。大きさは完成品と同じです。



完成品

下は完成品の絵葉書の表紙です。文字が訂正され、ノルウェー国旗は正しく描かれています。全体の色調が変わり、デザインも細部が変わっています。

SUDEROY11の絵葉書は船景画ではなく写真が使われていますので、完成記念絵葉書とされます。